

紫波 3

2003
SHIWA TOWN SINCE 1955 【No.619】



中間報告
市町村合併に
関する
アンケートの
速報



そして、
最後のチャイムが鳴り、
校門は静かに
閉じられる。

《特集》さよなら
上平沢小学校校舎



児童・生徒の健全育成
紫波町生徒指導推進協議会
好評第四弾 野崎洋光 冬の地産地消
海外交流 訪問団、オーストラリアへ



皆さんご利用ください
すこやか号
一〇〇円
バスで再出発



そして、最後のチャイムが鳴り、 校門は静かに閉じられる。

3

ポイント 3月で新築移転する上平沢小学校の一日を追いかけて、その思い出や町産材で建てられた新たな校舎について紹介します。

紫波町 生徒指導推進協議会

8

ポイント 小・中・高校生の健全育成のため、地域で取り組む活動の様子や家庭学習時間の調査をお知らせします。

中間報告 市町村合併に 関するアンケート

10

ポイント 紫波ネット別冊「みんなで考えよう 市町村合併」でお願いしたアンケートの速報です。

野崎洋光 紫波の旬を美味しくつくる 冬の地産地消

12

ポイント 分とく山総料理長の野崎洋光さんをお迎えしてのイベントも一区切りの4回目。当日の様子などを紹介します。

すこやか号 100 円バスで 再出発

14

ポイント これまで運行してきたすこやか号に変わり、だれでも利用できるバスが4月から運行します。今月号と同時に時刻表も配布します。

まちの話題

16

情報掲示板

19

産直・自慢の逸品

20

各地で大反響。涙なくしては見られない話題作が原作者と共に紫波へ



妻のため、子どものため、脱藩し新撰組に身を投じた吉村貫一郎。守銭奴とさげすまれあざけられようと、彼には願いがあった。
「もう一度、岩手の美しい山を眺め、愛する妻と子をこの手で抱きしめたい」
しかし、時代のうねりはその望みをも飲み込みながら流れていった...

《スケジュール》

午後 1 時 30 分 ~ 浅田次郎氏講演会
3 時 30 分 ~ 映画上映 (1 回目)
6 時 30 分 ~ " (2 回目)

《チケット》

前売券 一律 1,000 円
3月18日(火)から紫波町役場、
公民館、J A いわて中央で販売
当日券 一般 1,700 円
高校・大学生 1,500 円
小・中学生、シニア(60歳以上) 1,000 円

問合せ 政策経営課 ☎672-2111 内線 325、326

四月十九日(土) サン・ピエリジ紫波

みぶぎしでん

壬生義士伝

原作・浅田次郎氏講演と上映会

町長メッセージ
新しい出会いを求め、
ワインのまちスタンソープを訪問して

ワインのまちスタンソープを訪問して

新たな国際交流を目指して、オーストラリア、スタンソープ市を六日間の日程で訪問してまいりました。

これまで米国ミシガン州ボーテジ市と、中学生を中心に実施してきたのですが、諸般の事情で終了することとなりました。しかしこの度、総務省外郭団体である自治体国際交流協会シドニー事務所を紹介で百を超える都市の中から、当町の産業、教育、行政の分野で共通項の多い当市を選定して打診した結果、交流先となつても良いとの返事があり、今回の訪問となつた次第であります。

目的は相互交流することにより、町民、特に子どもたちが国際感覚を持ち、世界を舞台に活躍できる人材が多く輩出されることにあります。今回、通訳をお願いした羽田由利さんは、オーストラリア・ブリスベン市で日本語教師をされており、お母さんが彦部出身で盛岡市在住とあつて当町の状況をよく理解されています。相手方の事情にも詳しいので、スタンソープ市側にもよく当町の状況が伝わったと思われます。このように世界で活躍される人材育成が今後ますます必要となります。

今後、交流を続ける中で、相互理解を深めながら町民各層の方々が自由に往来し、国際感覚溢れる活力あるまちづくりに寄与できることを願うものであります。

(藤原 孝)

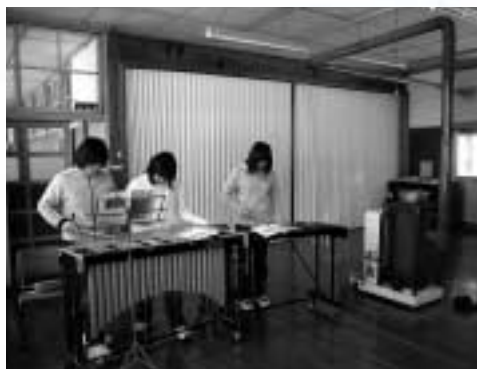
さようなら、 上平沢小学校校舎

春に1年生を迎え入れ、3月には健やかに成長した6年生を見送り、46年間子どもたちと過ごしてきた上平沢小学校の校舎。まもなく取り壊されることを知っているのか、3月の残雪の中、とやかに建てられている新しい校舎を見上げているかのようにたたずんでいます。校舎の中からは今日も変わらず子どもたちの元気な声が聞こえてきます。今月の特集は、上平沢小学校の校舎の思い出と、最後の在校生たちの様子をお伝えします。

そして、最後の
チャイムが鳴り、
校門は静かに
閉じられる。



1 ヵ月のある日...



昔は網目のミカン袋に入っていた
石けんも今はちゃんと石けん置きに。
でも水は相変わらず冷たかった



6 年は音楽、5 年は算数。
教科が変わろうと児童が変わろうと
学ぶ態度の真剣さは同じ



北校舎は四年、五年、六年生の教室と音楽室があります。音楽室には発表会のため業間休みも鉄琴を練習する六年生の姿がありました。五年生の休み時間は段ボールでお手製の床を作りべいごま遊びです。四年生は七人が風邪のため欠席で、教室にぽかんと空間ができたように少し寂しい感じでした。

地域の強い希望と町が進める森林資源循環を図って、新しい校舎も木で造られています。新校舎への引越後、この校舎はすぐに取り壊されることになっていますが、素直で明るい上平沢の子どもたちは新校舎も大切に使い、新しい思い出を刻んでいくことを確信した一日でした。

中校舎には職員室や図書室、理科室そして両側が窓で少し広い三年生の教室があります。

今日の三年生には給食の時間ちよつとした事件が起こりました。給食コンテナからおかずを運ぶとき、友達同士の肘がぶつかって十九人分のおかずをひっくり返してしまつたのです。でも心配することはありませんでした。三年生の女子はそんなハプニングにも動じず、すぐにぞうきんとバケツを用意し、あつという間に片づけてしまい、床は元通りきれいな状態に。担任の先生もそんな子どもたちの成長に目を細めた一場面でした。こぼしたおかずも、欠席が多かつたクラスの分を三年生に分けてみんな食べることができました。

建築後四十六年を経た上平沢小学校の現校舎。外観だけ見れば、さすがにくすんだようなたたずまいです。しかし南校舎、中校舎、北校舎を結ぶ廊下は手入れが行き届き、差し込む光を反射しています。南校舎にあるのは一年生と二年生の教室です。教室は太陽の光と、煙突が屋外に伸びる昔ながらの石油ストーブととても暖かくなっていました。

一年生は国語の時間。取材のカメラが教室にはいると、それが気になって落ち着かない様子です。それでも先生の問いかけにはわれ先にと手を挙げたり、シマウマの赤ちゃんが生まれてすぐに立つ様子を教壇の上でまねたりしていました。二年生は総合学習の時間のようです。机とイスを後ろに片づけ、床に腰を下ろし、床の上で紙に字を書いています。木の床にはやはり暖かみを感じます。



職員室。子どもたちのために
費やした時間の歴史が感じられる



子どもたちの姿

校舎移転まであと

待ちかねていた給食時間。
昼休みにたくさん遊ぶためにも、
当番の足も速まる

この日の献立はポトフがメイン。
おかずの微妙な大きさの
違いが気になる子どもたち

思い出の学び舎

第八十四回卒業生 新里光子さん

私が小学校三年生の時に、校舎が火災にあつて全焼してしまいました。学年

別に分散授業が始まり、Aクラスは稲藤の集会所、Bクラスは向町の欣求寺でした。音楽の時間になると稲藤から向町まで、Bクラスの内村先生の授業を受けるため、一列に歩いて行つたものです。

待ちに待つた新校舎は、松林の中にゆつたりと建てられていました。校舎での授業は始まつたものの、まだグラウンドは整備されていません。担任だつた斉藤信郎先生の号令のもと、来る日も来る日もがんばつて校庭の石拾いをしました。体育の時間はいつも石拾い、よくまあおだてられてせつせと拾つたものだと思います。

新しい理科室のガラスケースには標本が陳列されていました。そこには大きなへびをホルマリン漬けにしたガラスビンがあつたのです。私はその前を通るときは毎回息をのみこんで、へびを見ないよう早足に通り過ぎたものです。

各クラスの南面にはテラスがあり、休み時間には当時大流行だつたフラフープで、上手に遊ぶ上級生の姿をうらやましく見ていました。

今はもうありませんが、講堂ではよくバドミントンをして遊びました。屋根裏によく羽根をひっかけたものです。昨年紫波町議会だよりが日本一に輝きましたが、あの議会だよりの表紙を飾つたのが、上平沢小学校の入学式シーンです。来賓の挨拶にすぐ反応を示した一年生を捉えた写真です。底抜けに明るい子どもたちのはじける笑顔、あの講堂あの場面でした。

今年、新しい校舎が建ち、私のたくさんの思い出がつまつた学び舎が壊されるのは寂しいですが、これから子どもたちが私と同じようにたくさんの思い出を、新しい校舎で創つてほしい。子どもたちの笑顔が私の楽しみです。

放送室で昼の校内放送を開始。
放送室に給食を持ち込んで
真剣に放送

子どもたちの夢を育んできた
図書室。陽光差し込む室内に
ろう下の声が響く

いつもと変わらぬ

忘れないよ。校舎のこと

上平沢小学校の思い出

消えゆく校舎の思い出を
児童や先生に伺いました。



思い出に残った校舎

六年 佐藤晴香さん

私はこの校舎で六年間すごしました。一、二年の時は休み時間のチャイムが鳴ると校庭で遊びたくて、ろう下を全力で走って先生におこられました。六年生になつてからは、みんなで「きもだめし」をして暗い校舎を歩きました。私にとってこの校舎は、楽しい時、うれしい時、悲しい時と一緒にすごしてきたとも思い出に残る校舎です。新しい校舎になっても、この校舎のことは小学校生活六年間の思い出として、いつまでも忘れずに心に残しておきたいと思います。



校舎の思い出

六年 城戸祐弥くん

学校の校庭は夏休みにこわされてしまいました。ぼくにはたくさん思い出がありました。みんなで楽しめ会をしたり、キックベースをしたりして友達とたくさん遊びました。築山では、たこあげをしたり、そりですべったり、遊んでいるうちに夢中になって、委員会をすっ飛ばして先生におこられたこともありました。



校舎にもお世話になりました。楽しい時間をたくさん作りました。悔しかった時などにかべをたたいたりしたこともありましたが、ぼくはこの校舎がけっこう好きでした。

いつまでも忘れないよ

五年 阿部 香さん

校舎さん、今までありがとう。このぎしぎしなるゆかやトイレがこわかったけど、今ではぎしぎしゆかが大好きです。初めて下校まで残った時、ろう下に夕日が差していました。赤い模様のついたろう下みたいで、きれいでした。私の一番好きな場所です。新しい校舎には赤い夕日が差してくれるかな。この校舎大好き。いつまでも忘れないよ。



新校舎建築に思うこと

上平沢小学校 校長 大野文雄さん



関係各位のご尽力により上平沢小学校の校舎を新築することができました。

町の地産地消の方針のもと、材料はすべて町内で育つたスギやマツなどのムク材による木造平屋建です。町内の大工さんの手になる三棟からなり、暖房は炭酸ガスの発生を抑えたペレットを燃料とした全棟パネルヒーターになっています。

建築にあたっては、何より子どもたちにとって住み良く、学習環境に配慮しており、教室の広さは現在の1・五倍です。水道、クロークも設置され、採光は南と北から目に優しい光がそそぎ、吹き抜けにより開放的なものとなっています。管理棟では、地域の方々の利用も考え、畳敷きの多目的ホールをはじめ、図書室、音楽室、コンピュータ室などが集中して配置され、四月からこの新校舎で本格的に授業が開始されることになっています。

このように町をあげて新校舎完成を思うとき、忘れてはならないのは、現在の校舎建築に携わった地域の方々の汗と努力です。

本校は、明治七年（一八七四）九月二十九日に学校としての呱呱の声をあげ、その四年後代官所跡地に校舎を建築し、常に地域の暖かいご支援とご協力に支えられて参りましたが、手狭になつたことから昭和三十一年、現在地に校舎を建築することになっていました。

ところが残念なことにその年の五月に木造校舎が全焼してしまつたのです。貴重な文書などを何ら

持ち出すことができず、地域の学校として強い愛着があつたことから、子どもたちや地域のみなさんの落胆は想像以上のものであつたと伺っております。

焼け出された子どもたちの学校を新築しようとの意気込みで七月から工事が開始され、四ヵ月後の十月末には完成、志和町内に分散し学習していた子どもたちが戻ってきました。翌年には繋ぎ廊下と講堂も完成し、安心して学校生活に打ち込むことができましたが、教材などの準備のため教職員の苦労は大変だつたと思います。

地域の方々が力を合わせて手で原野を掘り、モロコを担ぎ、土台を支えるために大きな槌を手で引く張つて地面を叩いて固め、絶え間なく出てくる石ころをせせと運び出し、整地と建築に連日汗を流したと聞いています。現在のような土木機械が十分でなかつた時代に、この広さを作り出すことは、筆舌に尽くしがたいものです。子どもたちへの深い愛情と教育の大切さを思う気持ちが成し遂げた所産であると、深い感銘を受けずにはいられません。

ある時、暗くなつた校舎を見回っていたら、不思議なことにどこからか一条の光が差し込み、床がピカツと光り輝いていました。その光に見とれていました。この光こそ、地域の方々のこの校舎に対する深い愛情の光と感じたのは思い過ぎでしょうか。新校舎は、全国にも誇れる素晴らしいものであると思う時、四十六年間使用した現在の校舎を通して、地域の方々の子どもたちへの深い愛情と汗と努力を決して忘れてはならないと肝に銘じております。

三月十七日、ついに完成 町産材で作られた新上平沢小学校

現在、毎日五十人以上の大工さんをはじめ、百人あまりの工事関係者が入り、仕上げにかかっています。完成は三月十七日、引越しは卒業式の次の日となる二十一日～二十三日にPTAの協力を得て行われます。教室やホール、どこをとつても木のぬくもりを感じ、子どもたちの隠れ家をはじめ、遊び心ある造りになっています。校舎の東側が整備され校庭になります。

南部アカマツのはりが目を引く教室



懐かしい温もりが感じられるいす

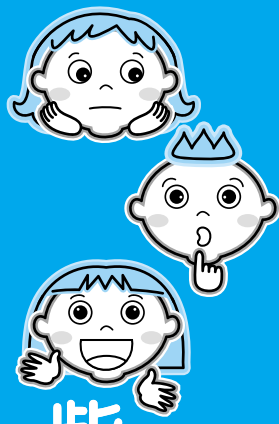


校庭になる校舎東側から

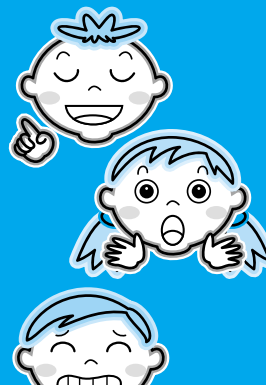


使用する机も木製





紫波町生徒指導推進協議会



紫波町生徒指導推進協議会は、町の児童生徒の健全な育成を図るために、小・中・高等学校、各PTAと関係機関、関係団体とが連携をとりつつ、生徒指導を地域的に推進し、その充実を図ることを目的に組織されています。生徒指導の情報交換や長期休業中のパトロールなどが主な活動です。

尊敬する人が言えるように

紫波町生徒指導推進協議会長 佐藤 正春



高校入試の面接試験をしていて、「尊敬する人はだれですか？」と生徒に質問しますと、「……」と無言の生徒が多い中で、「父母です」と答える生徒が何人かあります。それでは「理由は何か？」と重ねて質問しますと、「私をこれまで育ててくれたからです」との答えが返ってきます。私はそれに對して「子どもを育てるのはスズメやカラスでもやっていますよ」と皮肉を込めて言っております。生徒には尊敬する人は自分に身近な人だけで、偉人は範疇（はんちゆう）にないようです。そして、偉人といわれる人の名前を挙げることも、その人の業績や生き方についても話せません。また、「将来の夢は何で

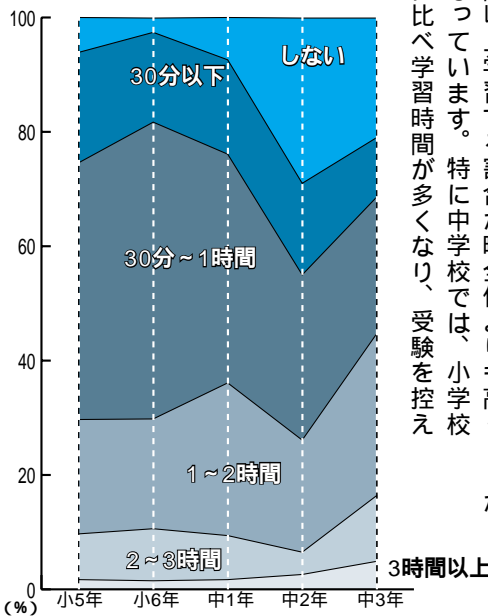
すか？」と質問しても大きな夢を語ってくれる生徒もおりません。生徒の頭の中には「大志」「偉人」という言葉が存在しないようです。欧米諸国では子どもに読ませたい本の第一位は常に「伝記」がしめるそうです。それは、自分の子どもに素晴らしい生き方をした人間をモデルに成長してもらいたいとの親の願いからなそうです。紫波町の小、中学生も、大きな夢を持ち続け、色々な困難を乗り越え素晴らしい業績を残した「偉人」といわれる人の生き方を学び取り、「私もこのような生き方をしたい」と胸を張って答えられるようになってほしいものです。

「帰宅後の時間の使い方」アンケート 「子どもさんの学習習慣は身に付いていますか？」

完全学校週五日制の実施にともない、町内の小学校五年生から中学校の全児童生徒を対象に、今年度一学期にアンケートを実施しました。その中から、家庭学習の時間について特に取り上げてみました。今、学力向上については全国的にも話題になっていますが、町内の児童生徒の家庭での学習はどのような実態なのでしょう。

集計の結果、中学校二・三年で「家庭学習をまったくしない」生徒が二〇パーセント以上いました。さらに、三十分以下と合わせてみると、家庭学習の時間が十分とはいえない結果です。また、全国学習時間調査と比較すると、全国では二時間以上学習する割合が町全体よりも高くなっています。特に中学校では、小学校に比べ学習時間が多くなり、受験を控え

た中学三年生では、学習時間が大幅に増えています。家に帰り、進んで学習する習慣をつける大切さは言うまでもありません。家庭でのテレビの視聴時間を含め、家庭での時間の使い方、家庭学習のあり方について考えてみてはいかがでしょうか。



家庭学習の時間（紫波町）（単位：％）					
3時間以上	1.7	1.5	1.7	2.6	4.9
2～3時間	8.0	9.1	7.7	3.9	11.5
1～2時間	20.0	19.2	26.7	19.6	28.3
30分～1時間	44.9	51.9	40.0	28.9	23.9
30分以下	19.3	15.7	16.5	16.0	10.4
0	6.1	2.5	7.4	28.9	20.9
	小5	小6	中1	中2	中3

共に生きている!

4年生は総合的な学習「共に生きよう」で、福祉に関する追求活動を行っています。2月4日にアイマスク体験や耳の不自由な人との交流を行い、耳や目の不自由な人も自分たちと同じ生活をしていることが分かった子どもたち。「困っている人を見かけた時どうしてほしいのかなと相手の気持ちを考えることはだれに対しても大切なことですよね」というゲストティーチャーの言葉。図書やインターネットでは得られない貴重な体験でした。



児童・生徒の教育相談をご利用ください

各学校での相談

【心の教室相談員】

紫波一中...菅原房子先生(火・水・木曜)

紫波二中...一方井ヨシ先生(火・金曜)

紫波三中...谷藤勇先生(火・木曜)

【スクールカウンセラー】

紫波一中...佐藤正恵先生(金曜)

ふれあい電話相談 専門の佐藤敏夫先生による教育相談です。教育委員会に直接おいでいただいての相談も行っています。ふれあい電話 ☎672-4600(月・水・金曜)/メールアドレス...siwa0009@isop.ne.jp

少年サポートセンター(警察本部少年課内、24時間受付)

メールアドレス...ip-support@iwate-kenkei.morioka.iwate.jp

心の教室相談員として

紫波第二中学校 心の教室相談員
一方井 ヨシ

「私のノートを見て」

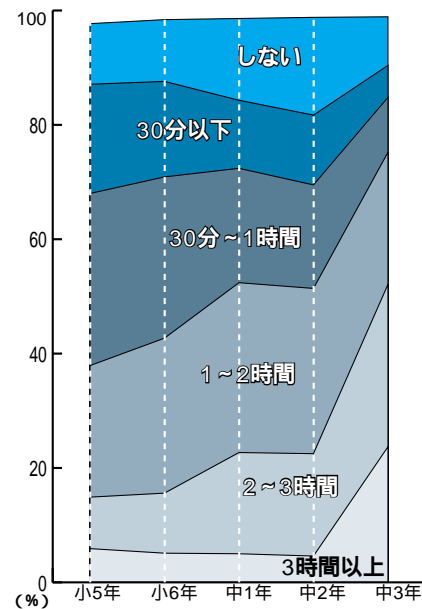
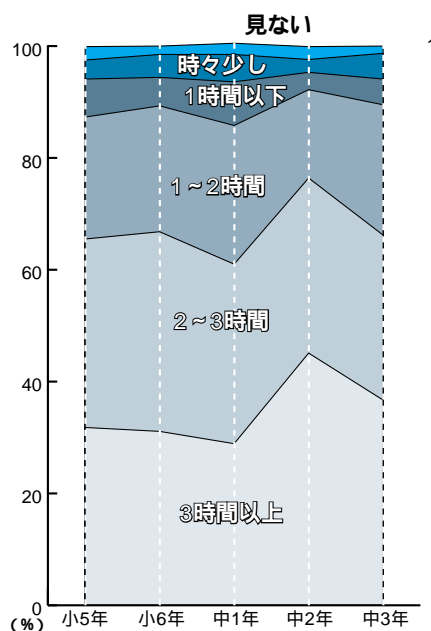
誇らしげにノートを差し出すS子の瞳は輝いていました。教室でノートの取り方が素晴らしいと、みんなの前でほめられたことがよほど嬉しかったのでしよう。相談室にまで報告に来たのです。

それまでは、作業が遅い自分をマイナスととらえ、下を向きがちだったS子は、遅くても丁寧に書くことを自分の良さとして受け止め、自分に自信を持つことができたのです。その後もノートを度々持ってきては、福祉に進みたいという夢を語り、高校に進学していきました。

毎日の生活の中では、なかなか子どもの成長や良さは見えにくいものです



が、時間を置いたり、視点を変えたり、距離を置いたりしたとき、子どもの真の姿が見えてきます。「この子はこうだから」とか、どうせこのくらいなんだとか、一面だけでとらえたり、他と比べたりするのではなく、一人ひとりの個性をその子の良さとして受け止め、子どもの内面にある伸びよつとする力や、より良く生きたいと願う可能性を信じ、励まし続けることが大切であると思います。



文部科学省の昨年度調査結果

テレビを見る時間(紫波町)(単位:%)

	小5	小6	中1	中2	中3
3時間以上	31.8	31.1	28.9	45.1	36.7
2~3時間	33.7	35.7	32.1	31.3	29.5
1~2時間	21.8	22.5	24.8	15.8	23.3
1時間以下	6.8	5.1	7.8	3.1	4.6
時々少し	3.4	4.1	4.9	2.3	4.6
見ない	2.4	1.5	2.0	2.3	1.3
	小5	小6	中1	中2	中3

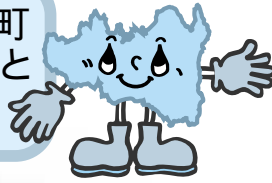
家庭学習の時間(全国)(単位:%)

	小5	小6	中1	中2	中3
3時間以上	5.9	5.1	5.0	4.6	23.7
2~3時間	9.0	10.5	17.7	17.9	28.4
1~2時間	23.0	27.1	29.7	28.9	23.1
30分~1時間	30.1	28.2	20.0	18.1	9.6
30分以下	19.1	16.7	11.9	12.2	5.6
0	10.6	10.8	14.3	17.1	8.5
	小5	小6	中1	中2	中3

みんなで考えよう

市町村合併

あなたは、紫波町が市町村合併をする必要があると思いますか。



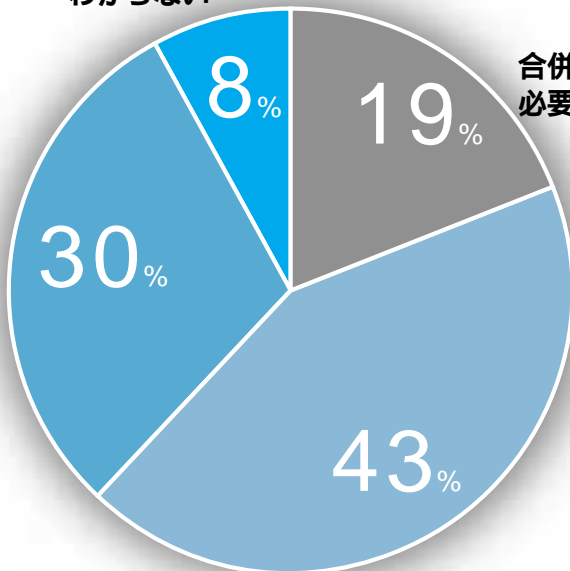
中間報告

市町村合併に関するアンケート

わからない

合併をする
必要がある

合併をする
必要はない



合併は必要だが
慎重に行う必要がある

町では、全世帯を対象に市町村合併に関するアンケートを実施しています。一月十二日のアンケート配布から三月三日までの一カ月半あまりの間に届いた回答を集計しましたので、その結果を中間速報としてお知らせします。

平成十五年一月一日現在の世帯数は一万二千五百世帯で、三月三日現在、一二・七％に相当する千二百七十一人から回答が寄せられています。
そのうち有効回答は千二百六十六人（回答数の九九・六％）でした。

合併の必要性は認めるが…

最初のグラフは、合併の必要性についての回答結果です。

「合併をする必要がある」一八・五％、「合併は必要だが慎重に行う必要

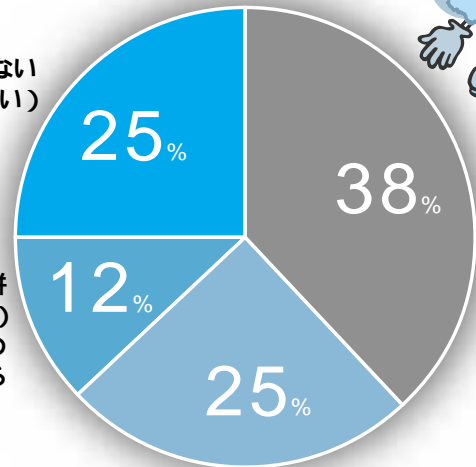
がある」四二・八％、「合併をする必要はない」三〇・一％、「わからない（無回答含む）」八・六％となっています。

経済情勢や将来人口の予測、市町村合併の先行事例を見ての判断とありますが、合併の必要性を認めながらも合併するときは慎重に行う必要があるとする回答が最も多くなっています。また「合併をする必要はない」という回答は、「合併をする必要がある」という回答を一一・六ポイント上回っています。

合併は対等か町中心で

合併方式の問いについては、「対等に合併して新しい市をつくる」が三七・七％で最も多く、次いで「判断できない」二五・一％、「紫波町が中心になって合併し新しい市をつくる」二四・九％となっています。この結果は、

あなたは、紫波町が合併するとしたら、次のいずれがよいですか



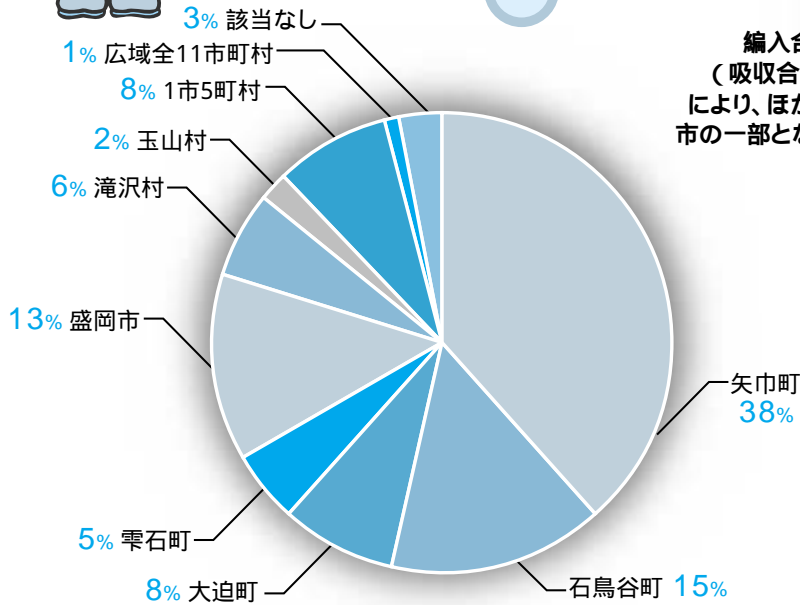
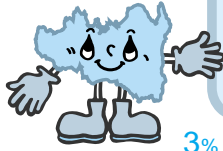
対等に合併して新しい市をつくる

紫波町が中心になって合併し、新しい市をつくる

判断できない（どちらともいえない）

編入合併（吸収合併）により、ほかの市の一部となる

近隣市町村や広域で紫波町が合併するとしたら、どの市町村がよいと思いますか。良いと思われるところをすべて選んでお答えください。（複数回答可）



アンケート集計結果は4月号で詳しく特集します。

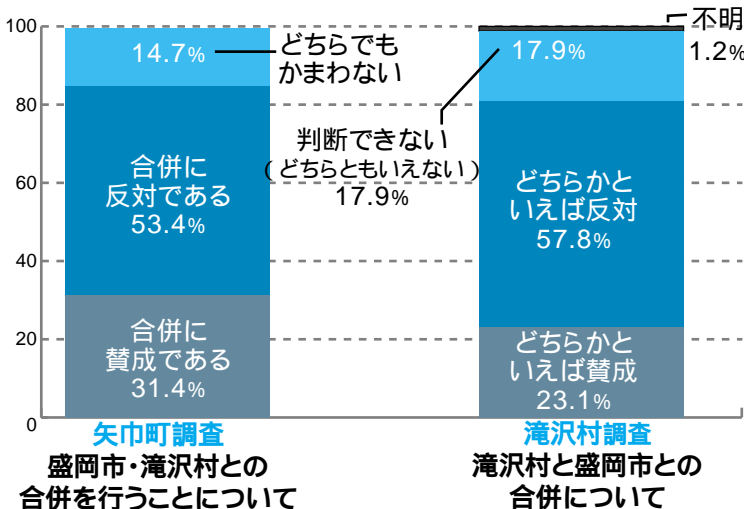
【単純に比較できない他町村のアンケート結果】

紫波町よりも先に、矢巾町や滝沢村で市町村合併に関するアンケートが実施されました。アンケート結果はすでに新聞などで公表されていますが、それを単純に比較するわけにはいきません。

その理由は、矢巾町も滝沢村も合併の相手先を示して、その相手方との合併の賛否を求めているのに対して、本町では、具体的な相手を示さず合併の必要性について求めているからです。

以下は、矢巾町と滝沢村のアンケート結果ですが、明らかに質問の仕方と答えの選択肢に表現の違いが見られます。

これを皆さんは、どのように受けとめますか。



想定する合併先は矢巾町

合併先としてふさわしいまちの候補（複数回答）をといた問いでは、「矢巾町」三七・九%、「石鳥谷町」一五・

合併するとしても他のまちを頼るのではなく、自立し対等な立場で、より良いまちづくりを目指してほしいという期待の現れと受けとめています。文章による回答でも、紫波町の独自性を失わない合併を求める声がいくつかありました。

また、その中で合併するとしたらどの市町村がよいのか、最も合併先としてふさわしいところをという問いでは、トップが「矢巾町」六九・一%、次いで「盛岡市」一〇・八%という結果になっています。

〇%、「盛岡市」一三・二%、「大迫町」八・四%の順となっています。郡を越えても隣接する町同士との合併について、無視できない興味深い結果となっています。



ラ・フランス温泉館の調理スタッフや仲間の協力を得て料理を作る野崎さん

地産地消

野崎洋光 冬の紫波の旬を美味しくつくる

ますます広がる 地産地消への取り組み

「百年後の子どもたちによりよい紫波を残そう」とさまざまな活動に取り組んでいるのがNPO法人紫波みらい研究所です。中でも東京西麻布・日本料理店「分とく山」総料理長の野崎洋光さんを講師に迎えて行ってきた「紫波の旬を美味しくつくる」は大好評のイベントでした。足かけ二年間にわたり、町内の四季折々の食材を、新しい料理法で紹介してきました。今回は、その一区切りとして二月二十二日に行われた「冬」の地産地消料理編の様子をご紹介します。

プロフィール：野崎洋光（のざきひろみつ）
福島県生まれ。武蔵野栄養専門学校を卒業してから料理人の道へ。東京・芝の、東京グラントホテル、「ハ芳園」を経て、西麻布の、「とく山」に料理長として迎えられる。平成元年「分とく山」を開店し総料理長に。趣味は仕事場」というくらい根づからの料理人。著書に『魚調理のこつ』（柴田書店）、『美味しい方程式の原点』（文化出版局）、『億万智と野崎洋光の ゆっくり、朝ごはん』（廣済堂出版）などがある。三月にはNHKのテレビ番組「男の食彩」収録のため、来町の予定も。放送は五月の見込み。



フラワーアレンジメントを紹介する阿部香菜子さん

料理の作り方などを知りたい人は

連絡先 NPO法人 紫波みらい研究所
(事務所 旧水道事業所)
☎676-6103
Eメールアドレス:
miraiken@shiwa-mirai.com
ホームページアドレス:
<http://www.shiwa-mirai.com>



紫波だより五目あん掛



鮭の粕汁



鮭の粕汁について話す野崎さん



萬旨煮



凍り餅揚げだし



揚げ牛蒡 芽カブ掛



「紫波だより」をゆでるスタッフの皆さん

お品書き

- 一、萬旨煮
よりずうまに
切り干しダイコン、牛肉など数種のう
ま味が凝縮
- 二、揚げ牛蒡 芽カブ掛
こぼう め かけ
簡単な味付けで揚げたゴボウ。歯ご
たえと風味が絶妙
- 三、和風ローストビーフ
紫波もも牛をダイコンおろしと特製
たれで
- 四、鶏割り干し大根 緑あん掛
素材の味を大事にしながら小松菜の
あんがアクセントに
- 五、凍り餅揚げだし
揚げた凍り餅がしらすやナメコで華
やかに
- 六、鮭の粕汁
万病に効くといわれ酒粕がおいしく味え
る逸品
- 七、紫波だより五目あん掛
野菜のうま味とろみがかうどんにからまり
ツリツリとした感じ
- 八、利久揚げ
りきゅうあげ
アズキ本来の味が楽しめるデザート

運営は同研究所の地産地消推進部会
が中心になって、毎回、紫波の旬やこ
だわりの農産物、加工品にスポットを
当てようと季節毎にテーマを決めて取
組んできました。

ラ・フランス温泉館湯楽々で開催さ
れたシリーズ最後となる今回への参加
者は五十三人。料理を一口食べること
に、身近な食材の思いがけないおいし
さや魅力を発見したと、驚きと賞賛の
声が聞かれました。

今回は、紫波の風土ならではの「も
ち」や「酒粕」、冬の貴重な栄養源で先
人の知恵のつまった食材「干し大根」
などを使った料理が紹介されました。
また、紫波町産南部小麦百パーセント
で作った手延べうどん「紫波だより」
が「五目あんかけうどん」として調理
され、参加者の好評を博しました。

「野崎先生には多忙な中、いつも何と
か時間を作っていたいただき、ほとんどボ
ランティアで協力してもらっています。
参加者の人たちと、食べ物を通して郷
土をもっとよくしたいという思いを共
有しながら、これからもがんばってい
きたいです」と同部会の皆さんは言い
ます。

今回参加した大半の人からは、この
企画の継続を望む声が寄せられている
とのこと。また、四回開催した同
イベントの延べ参加者は二百人以上に
及び、最近ではもっと紫波の食材を利
用して料理をしようという人も増えて
きているようです。

同部会のメンバーは今後も郷土の料
理や食材を町内外の人にもっと広く知
らせたいと、いろいろなイベントを企
画していくということです。



すこやか号 100円バスで再出発

4月1日から“だれでも乗れる”コミュニティバス
「新すこやか号」がスタートします。



町民の足 新すこやか号

紫波町は国道を中心にバス路線が走る比較的交通に恵まれた町です。その一方でバスが通わない地域も多くあります。こうした地域やマイカーを持たない高齢者などの交通手段として、現在「すこやか号」「赤沢果りん号」「温泉送迎バス」が運行されています。ところが、それぞれの運行日や経路などが異なる上、バスの利用が特定の人や目的に限られ、不便な面もたくさんありました。

こうしたバス交通の現状を踏まえ、この四月から新しい町民の足、コミュニティバス「新すこやか号」を運行します。



これまでのすこやか号とどう違うの？

各地区週一回の運行だったものを週二回に増便します。火曜から金曜まで各地区を回り、曜日によって右回り（時計回り）、左回り（反時計回り）を運行します。このことにより、停留所による乗車時間の格差を減らしたいと考えます。



どんなコースになるの？

現すこやか号の経路を活かした運行をします。全四コースで県立紫波病院を起終点に各地区を巡回し、午前と午後の二回運行します。

コミュニティバス「すこやか号」の料金

大人（中学生以上）	100 円	1 回の乗車（目的地に至るまで）につき 100 円。 乗り継ぎがある場合は、「乗り継ぎ券」を発行し、この券を提示することで乗り継ぎは 1 回まで無料。
小学生	50 円	
小学生未満	無料	

減免制度

身体障害者手帳および療育手帳、精神障害者福祉手帳の交付を受けている人は半額です。なお、身体障害者 1 種および療育手帳 A の付添人は 1 人まで半額です。

お知らせ

今月号の紫波ネットと一緒に、新しいコミュニティバス「すこやか号」の詳しい時刻表と停留所を配布しました。家庭の壁などにはってご活用ください。

問合せ 政策経営課 ☎672-2111
有線 01-8891



だれでも乗っていいの？

新すこやか号は、だれでも自由に乗り降りできるバスです。病院への通院、買い物、観光、他の交通機関への乗り継ぎや温泉利用など、すべての人が目的を問わず利用できます。



ラ・フランス温泉館へ行くにはどうすればいいの？

各地区を巡回してきたバスは県立病院で温泉バスに連絡し、火曜から金曜の週四日二往復します。日詰商店街や紫波中央駅を経由し、二十分ほどで温泉館に到着。帰りの出発までは約四時間ありますので、お昼をはさんでゆくりと過ごすことができます。

なお、これまで運行されてきたあづまね温泉送迎バスは、この三月で終了しますので、新すこやか号をご利用願います。



気になる料金は？

現すこやか号や温泉送迎バスの運賃は無料でしたが、新すこやか号を将来に渡り運行するために、一回の乗車について百円の運賃を協力いただくこととなります。皆さまのご理解をお願いいたします。なお料金の詳細は下表をご覧ください。

現すこやか号を利用していらっしゃる方々へのアンケート調査では、便数の増など利便性が向上するのであれば運賃の負担に協力してもよい、といった多くの回答をいただいています。



新しい停留所などを設けてほしいときは？

新すこやか号は四月からのスタートですが、運行を重ねるうちに停留所やダイヤなどの見直しも予想されます。このことから平成十五年四月から九月までを試験運行期間とし、利用者の意見を集約した上で計画を見直し、十月から本格運行を行います。



その他のサービスは？

バスの車輦は、小回りが利き、機動性のある中型バスを走らせます。山間部や市街地など道路事情にあまり左右されないバスを想定し、快適で安全な運行に努めます。また運転手のほかに案内や誘導などを行うガイド役乗務員がバスに同乗し、乗り降りの介助なども行います。



利用者の皆さまへ

新すこやか号は、交通空白地帯の交通確保を目的に、道路輸送法第21条の許可に基づいて、町がバス会社へ運行をお願いするもので、通常の一般乗合旅客自動車とは異なる運行になります。

みんなであらう バスのこと

昨年の二月に改正された道路運送法では、定期バス路線への参入や撤退は、許可制から届出制へと変わり、バス事業者からの申し出によることとされました。これまでの赤字路線堅持の考え方から、利用が少ない路線は廃止の対象にもなりえるというものです。現実問題として、マイカーの普及により利用者は年々バスから遠ざかる傾向にあります。

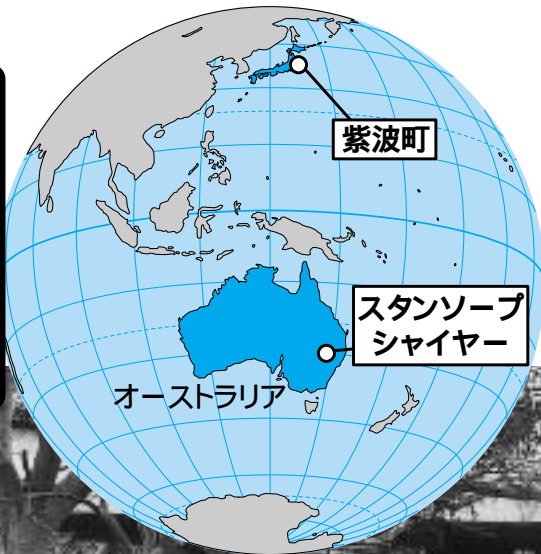
もし地域からバスがなくなってしまうたら…。最も困るのは車を持たないお年寄りや子どもなど交通弱者といわれる人たちです。

新すこやか号は、この定期バス路線との「連携」も大きな目標にします。盛岡市などへ向かう場合は、両方のバスを乗り継ぐことも一つの利用方法です。JRやタクシーへの乗り継ぎなどいろいろな組み合わせも可能です。

また、バスなど公共交通機関の利用が増えることで、少しでも二酸化炭素排出量を抑え、さらに都市部の渋滞緩和への貢献にも繋がります。

新すこやか号がバス離れに一石を投じるものとなり、町全体としてバスの利用を高めることができればと考えます。皆さんもこの問題に目を向け、積極的にバスを利用しましょう。

まちの話題



2/17 ~ 22



南半球の大陸・オーストラリアへ 国際交流を目指し スタンソープを訪問



町民の相互交流先として、進めてきたオーストラリア・スタンソープシャイヤーへ二月十七日～二十三日の六日間、藤原町長以下七人が公式訪問しました。両町の交流内容の具体化に向けた協議と、交流先の産業、教育、文化施設などを視察し、交流実現に向け新たな第一歩を踏み出しました。

熱烈的歓迎を受けながら

スタンソープ市は、オーストラリアのブリスベン空港から二三〇キロほど内陸にあり、到着時には市長、市幹部、議員の皆さんに熱烈的歓迎を受けました。人口一万百人ほど、豊かな自然に恵まれた紫波町の十倍以上という面積の広い大地と、人情味あふれる人たちが住んでいる所でした。

町と似た産業、中高生の交流も

産業が紫波町と似ているところもあり、果樹、野菜の特産地で、生産者同士による技術交流が期待されます。特にワインについては、三十七ものワイナリーがあり、各醸造所の違いを楽しめる場所でもあります。観光面では国立公園、美術館などの文化施設もあり、日本とは気候・風土が違った自然とふれあえるところです。

また、高校が二校あり（州立、私立高



校で日本に置き換えた場合中学二年生から高校三年生が学んでいる）パソコンによる授業が進んでいる学校でした。中学生の皆さんを派遣して相互交流出来るようにお願いをしてきたところですが、高校生の留学も受け入れ可能との回答を得ることができました。

交流を深め将来は姉妹都市へ

これから、スタンソープ市と想定される交流内容としては、文化、教育、観光、産業、環境などのさまざまなジャンルです。町の国際化にむけ、訪問団の派遣による直接交流、インターネットを活用した情報交流を深め、将来は姉妹都市提携を実現できるよう進めていく計画です。

紫波町公式訪問団メンバー

- 町長 藤原 孝
- 議長 工藤 眞巨
- 議員 本野 喜信
- 新里 哲之
- 教育長 川村 秀彦
- 紫波町国際交流協会副会長 大沢 斗志子
- 総務課総務文書室長 細川 久
- 政策経営課商工観光振興室長 小田 島栄太郎



ジュニアレーサー 100分の1秒に挑む

2/16

スキースポーツ少年団アルペンスキー大会が、網張スキー場で開催され、百二人の小中学生が出場しました。スタートの合図を待つ子どもたちの表情は真剣そのもの。競技の場となったミズナラスロープコースには、朝早く

からスキースポーツ少年団連絡協議会とスキー協会のスタッフが旗門を設置、念入りのコース整備が行われていました。今年は天候に恵まれ、転倒する選手も少なく、午後の閉会式では学年男女別に賞状と記念品のノートが渡



され、ヘルメットとゴーグルの下からいつもの笑顔がこぼれていました。



心のバリアフリーを目指し 五百人あまりが交流

2/8



障害を持つ人の自立とふれあいをテーマに「紫波町ふれあいコンサート、ハートフェスティバル」が開催され、町内外から集まった五百人ほどが歌やゲームそしてバザーで交流しました。コンサートでは、けやき学園をはじめ四施設が合唱や楽器演奏など日ごろの練習の成果を披露、会場からはたくさんの拍手が贈られていました。バザーにも町内だけでなく、遠くは葛巻からの参加もあり、手作りの作品など買い求める人で賑わいました。



建設産業連絡協議会が 災害時の対応を町と協定

1/27

紫波町建設産業連絡協議会（橘富雄会長）は町内において地震、大雨などの災害が発生したときに災害応急業務が迅速かつ円滑に実施されるように建設資機材労力を提供する協定を町と締結しました。災害はまたいつふりかかってくるのか予想できませんが、その対策がスピード化され、被害の拡大、二次、三次被害を防ぐことが大いに期待されます。



古館小学校におじいちゃん、 おばあちゃんの手作りぞうきん

2/12

老人クラブ古館第二百寿会（細川正男会長 会員三十八人）では、毎年古館小学校に、ぞうきんを寄付しており、今年も百十枚が子どもたちに手渡されました。できるだけ長く柔らかく使えるように、すべてが手縫いでやや厚地に出来ています。社会奉仕の心を、このぞうきんから少しでも感じて成長してほしいという願いがこもっています。家庭ではぞうきんを使った水ぶきはあまりやらなくなり、子どもたちは絞り方を先生から教わって掃除をしています。





安全安心な町は自分たちの手で 紫波町防犯隊結成

2/13

「安全で安心なまちづくり条例」の目的に沿って募集された、町の防犯員に辞令が交付されました。今回、任命された七人は自ら手を挙げた意識の高い人ばかりで、今後は町の巡回パトロールなどの活動をしながら、町民の防犯意識高揚を図るため既存の関係団体と共に活躍していきます。皆さんも自分たちの町を守るた

め協力しあいましょう。

紫波町防犯員は次の7人です。

隊長 七木田 明さん（東長岡）
長谷部克巳さん（高水寺）
高橋 吉見さん（犬淵）
福田 正仁さん（江柄）
根水 康博さん（佐比内）
半田 清悦さん（星山）
菊池 敏子さん（高水寺）



笑顔がふれあう なんバザ・ホール

2/6・15



県政懇談会「ふれあいトーク」がなんバザホールで開催され、増田知事がホールの運営協議会、アグリレイブス、さくら製作所、ITサポートセンターのメンバーと1時間半にわたって懇談しました。はじめに活動風景を見学し、ここが患者輸送バスすこやか号を利用したり、日中独りで過ごすお年寄りの憩いの場として、親しまれているのことに、知事は「高齢社会、人間関係が希薄化している時代に大切な活動の一つです。無理しないで長く継続して欲しい」と

激励。また、なんバザホールのメンバーからは「知事宛のEメールの返事がいただきたい」などの要望がだされました。

*

十五日には、「そば打ち」や「きりせんしょ作り」などの地産地消体験まつりが開催されました。「そば打ち」では自分で打ったそばをその場でゆでで食べることができるとあって大人気。家でやってみたけどそば粉を買い求める人もいたほどです。店の外では子どもたちが、なれない手つきで「もちつき」をし、きな粉やゴマで味付けされ、さっそく店内の人たちにふるまわれました。



増田知事と和やかに話した県政懇談会「ふれあいトーク」



大人に混じって子どもも挑戦!の「そば打ち体験」

初めての子どもたちも多かったもちつき体験



向上心あふれる学生を支援 紫波町育英奨学生を募集

教育委員会では、平成 15 年度紫波町育英会奨学生の志望者を募集しています。4 月に高等学校、高等専門学校、専修学校(専門課程に限る)、短期大学、大学に進学し、紫波町育英会奨学生を希望する人は、早目に現在の学校の校長と相談して、下記の書類を提出してください。また 4 月 1 日以前に進学した、修学の途中の奨学生希望者も同様です。

申請書類(1 部ずつ提出) 奨学生願書 / 奨学生推薦調書(3 月までに在学した学校で作成) / 戸籍抄本(出願者本人のもの) / 所得証明書(家族で所得のある人全員分) / 資産証明書(家族で資産のある人全員分) / 在学証明書(4 月から在学する学校で発行) / 健康診断書(医師発行のものに限りませんが、簡略なもので可)

期限 4 月 25 日(金)までに教育委員会へ提出

採用決定 おおむね 5 月下旬です。採用、不採用にかかわらず通知します。

奨学金の月額 高等学校・2 万円(県外 3 万円) / 高等専門学校・3 万円 / 専修学校・3 万円 / 短期大学・3 万円(県外 4 万円) / 大学・3 万円(県外 4 万円)

奨学金の貸与 新たに奨学生になった人は、6 月 15 日から毎月 15 日に奨学金を貸与します。なお、4 月分と 5 月分については 6 月に貸与します。

貸与の方法 銀行口座へ振込みます。口座は事務処理上、岩手銀行紫波支店のみです。

奨学金の返還 在学した学校の修学年限の 2 倍に相当する期間以内に返還。ただし、高等学校および大学を通じて貸与を受けた場合は、10 年以内の期間とします。(返還方法には若干の例外があります)

問合せ 教育委員会総務学事課 ☎672-3362
有線 01-8941

平成 15 年度「紫波町経営品質評価フェロー」 (しわフェロー)を募集

紫波町経営品質会議ではボランティアとして活動していただく平成 15 年度「紫波町経営品質評価フェロー(しわフェロー)」を募集します。経営品質会議とは、企業・町民・行政が三位一体となったまちづくりを進めていく上で、それぞれの視点から行政の経営品質の向上を目指した協議を行う会議です。しわフェローには、記念バッジを差し上げるほか、経営品質会議が主催する講演会などに優先的に参加できます。

募集人員(48 人)の活動内容 まちづくりに関する提言 / まちづくりに関するアンケートへの回答 / 経営品質会議が主催するセミナーや懇談会への出席

委嘱期間 委嘱の日から平成 16 年 3 月 31 日まで

応募資格 紫波町に住所を有する平成 15 年 4 月 2 日現在で満 10 歳以上の人

応募方法 次の項目を記入し、官製はがきやファクシミリ、電子メールで応募してください。(以外はすべて記入)

【記入事項】郵便番号 / 住所 / 氏名(ふりがな) / 性別 / 生年月日 / 電話番号 / 電子メールアドレス(持っている場合) / 職業 勤務先、学校名 / 応募の理由、抱負

【あて先】〒028-3390 紫波町 政策経営課 情報政策室内 経営品質会議事務局(郵送の場合、郵便番号とあて先のみで届きます) / ファクシミリの場合 ☎672-2311 / 電子メールの場合 info@town.shiwa.iwate.jp

応募締切 4 月 11 日(金) 選考結果は、4 月下旬、応募者に直接通知します

申込・問合せ 政策経営課情報政策室 ☎672-2111 内線 324

一般求職者や学生などを対象に就職面接会

今春卒業の学生をはじめ、求職中の人と、求人を出している事業所の皆さんは積極的にご参加ください。

日時 3 月 18 日(火) 午後 1 時 ~ 4 時

場所 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

問合せ 盛岡公共職業安定所求人企画部門 ☎651-8811 内線 251、253、255、257

平成 15 年度「ツバメの便り」の募集

春の使者として親しまれ、害虫を食べる鳥として知られるツバメの渡りの状況調査にあなたも参加しませんか。県ではツバメの初認の情報「ツバメの便り」を募集しています。

応募方法 郵便はがき、FAX、インターネットのホームページでお知らせください(電話では受付していません)

記載内容 ツバメの姿を見たら、次のことを記載しご連絡ください。① 日時と場所、天候 / ② ツバメの種類、

数およびその時の様子(古巣に戻っていた、飛んでるのを見たなど) / ③ 確認した時の感想 / ④ 応募者の住所、氏名、職業および年齢

応募締切 4 月 30 日(水)

応募先 〒020-0173 滝沢村滝沢字砂込 1533-1 野鳥観察の森 ネイチャーセンター「ツバメの便り」係 / ☎688-5522 / 県自然保護課ホームページ：
http://www.pref.iwate.jp/hp0316/

手作り味工房・彩彩

良いものが集まり、周辺の人が集まる場所で
手ごろ・手作りのお弁当

盛岡市の中心街アーケード「ホットライン肴町」
で、紫波町の味を販売しているのが「手作り味工
房・彩彩」です。「はじめは稲藤一（のそばと小昼ハ
ウス）の商品を中心にしていたんですが、近隣の市
町村の『良いもの』も徐々に増えています」と話し
てくれたのは中心メンバーの坂本敬子さん（古館）。
メンバーも驚くほど順調で、昨年七月のオープン
以来、一日平均二百五十〜三百人の来店者を数え
ます。数ある商品の中で、人気なのが手作り弁当。
前日から三十種以上の総菜を作る弁当は、五百円
程度と値段も手ごろです。「周辺にはお年寄りが
多く住んでいるので、昔ながらの味と求めやすい値
段というのが大事ですよ」とのこと。「もつとお
いしく安全なものを」という彩彩は、これからも多
くのお客さんで賑わいそうです。



【手作り味工房・彩彩】
盛岡市肴町6-10
☎652-0939
午前10時〜午後6時
日曜休み



産直の逸品
自慢の逸品

開店から変わらないビビンバ丼（手前）と和風弁当。出来合のものは使わず手作り
にこだわった総菜の数々は、素材の味が生きていて人気になるのもうなずける味です。



【作品名】キラキラかぶと虫

中田 駿平くん（1年）



スポンジのからだにキラキラした飾りと、裏山でひろったどんぐりをくっつけました。えさを食べています。お家ではおねえさんと妹とよくかるたで勝負します。

糸ノコで棒を斜めに切って枝の角度をつけます。そこに白い粘土にマジックを混ぜてこねたキノコの傘やツルを巻き付けてあります。バスケットが大好きでキャプテンを務めています。



【作品名】キノコの森

佐藤 広輝くん（6年）



キッズ
ギャラリー
彦部小学校